

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 90114 単位数 : 2

科目名	教職概論	科目責任者	石野 日出夫
課題と試験担当教員	清水 研一郎		
履修方法	S スクーリング学習		
ナンバリング	CTETC150		

■ 科目概要

教職概論は、教師を志す学生にとって必須の科目です。教職概論では、まず教職の意義と使命について学習します。そして、教職の実際、教職と服務、学校組織や研修などについての基礎的知識をしっかりと習得することを目指します。また、学級経営者としての経営感覚を身に付けさせようとしています。

■ 到達目標

テキストでの学習を通して、理解を深め身に付けてほしい点は、以下の4点です。

- 1、 教師の使命、教師に求められる資質について理解すること。
- 2、 教職に実際について、教師の仕事、職務、教科指導と児童生徒理解に基づく生徒指導、教材研究、学習指導案作成などの点から理解すること。
- 3、 教育課程、学校組織、校務分掌について経営的感覚を理解すること。
- 4、 学校教育の今日的課題について把握し、対応策を考える態度を身に付けること。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1章 第1節 「教育の本義」	1.教育とは何か 2.村井氏の見解 3.教育の本義 子どもを善くする教育とは何か。
第1章 第2節 「教育の思想」	1.古代ギリシャ教育思想のはじまり 2.中世の教育 3.近代における教育理念 教育思想について理解する。
第1章 第3節 「教育の目的と法令」	1.日本国憲法の教育関連規定 2.教育改革と法改正 3.改正教育基本法 憲法の下、法が策定される。
第1章 第4節 「学校とは何か」	1.学校の成り立ち 2.学校の種類 3.新しい教育観・学力観 4.学校教育目標と教育課程 5.これからの教育と学校 各学校が策定する教育目標である。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第2章 第1節 「教師—その崇高な使命」	1.教職の意義と役割 2.教師論の変遷 3.教師になること 専門職としての教師論もある。
第2章 第2節 「教職に生きること」 第2章 第3節 「これからの教師に求められる資質能力」	1.教師の目指すもの 2.教師を取り巻く現状 3.教師力の磨き方 どのように教師力を磨くか。 1.教師の専門性とは 2.豊かな人間性 3.時代の変化に対応するとは 教師にはさまざまな要求が出てきている。
第3章 第1節 「勤務と服務」	1.勤務 2.服務 3.分限と懲戒 公務員のためさまざまな制約がある。
第3章 第2節 「職務と組織」	1.職務と組織 2.校務分掌 3.諸計画の作成 学校組織は校務を分担して動いている。
第3章 第3節 「教科指導と教科外指導」	1.教科指導 2.道徳 3.総合的な学習の時間 4.特別活動 教師の力量が試される、力の発揮どころである。
第3章 第4節 「学級経営と児童生徒理解」	1.学級経営 2.生徒指導と児童生徒理解 3.教育相談 子どもと密接にかかわるにはどうすればよいか。
第4章 第1節 「開かれた学校」	1.なぜ「開かれた学校」なのか 2.地域・保護者・関係機関との連携 3.行政・学校評価・教員評価 評価の時代といわれるが目的はなにかを考える。
第4章 第2節 「学校の課題への取り組み」	1.いじめ・不登校・問題行動と防止・対応策 2.情報教育・国際理解教育・人権教育・食育 3.災害・事故・事件への備え、保健・給食指導 今日、学校にはさまざまな課題が山積している。
第4章 第3節 「人材育成」 第5章 第1節 「免許の取得」	1.OJTと人材育成 2.校内研究の進め方 3.主幹・主任教諭の育成 職務を通して教師を育てる。 1.免許の取得 2.教員免許法改正の意義 3.教育実習の心構え 4.教職実践演習と介護等体験 教員免許には有効期限がついている。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第5章 第2節 「採用試験」 第3節 「研修」	1.今から取り組む教員採用選考対策 2.論文や筆記試験対応 3.面接試験・自己アピール・模擬授業対策 論理的な発想を身に付ける。 1.研修の必要性 2.研修の種類と内容 3.教員のステージ研修 資質を高める研修とは何かを考える。

■ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークは行いません。

■学習方法・評価

種別	評価基準
試験	1、基本的な単語をよく理解すること。そのためには「AとはBである」とメモを見ないで言えるようにする。例えば、「いじめとは、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているものである」などと言うことができる。そしてその意味を考えてみることである。 2、見出しをみて、その内容が言えるようにしておく。そのためによく読む。 また、重要ポイントを白紙に書いてみる。 どの章や節も重要です。よく学習してください。

■評価方法

○スクーリング試験：100%

■教科書

書名：教職概論 新版
著者名：鈎治雄編
出版社名：創大通信教育部
出版年：
版：
刷：
ISBN：

■参考書

学習指導要領、学習指導要領解説、各指導事例集や生徒指導提要（以上「文科省」）
 その他、参考文献が各章末に示されているので、必要に応じて読むようにしてください。

■履修上のアドバイス

レポートは単なる文章の写しではありません。文章をまとめることは必要ですが、それで終わってはなりません。テキスト、参考書などに基いた理論の構成が必要です。「私は…について～する」「私は…について～と考える」という表現で、当事者意識を持った考えを述べる必要があります。

論を述べるときには、読み手を意識した、分かりやすく読みやすい文章がよいのです。考えが一貫した文章になるようにしてください。

■ 自習時間

1 コマにつき、2 時間程度を充当してください。

■ 担当者のプロフィール

1949年長野県生まれ。通信教育部専任講師。元公立中学校校長。全国英語教育研究団体連盟元事務局次長。